

平成 24 年 2 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 23 年 10 月 12 日

上場会社名 株式会社 ブロccoliー 上場取引所 大
 コード番号 2706 URL <http://www.broccoli.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 知治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 渡邊 朋浩 (TEL) 03 (5372) 6322
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 10 月 14 日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 2 月期第 2 四半期の業績 (平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 2 月期第 2 四半期	3,449	△34.0	287	108.6	279	106.2	160	53.5
23 年 2 月期第 2 四半期	5,227	-	137	-	135	-	104	-

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 2 月期第 2 四半期	4.89	-
23 年 2 月期第 2 四半期	3.19	-

(注) 23 年 2 月期第 2 四半期の対前年同四半期増減率につきましては、22 年 2 月期第 2 四半期において、四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24 年 2 月期第 2 四半期	1,536	525	34.2	16.07
23 年 2 月期	1,807	365	20.2	11.17

(参考) 自己資本 24 年 2 月期第 2 四半期 525 百万円 23 年 2 月期 365 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 2 月期	-	0.00	-	0.00	0.00
24 年 2 月期	-	0.00	-	-	-
24 年 2 月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 24 年 2 月期の業績予想 (平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	4,962 △52.7	342 25.7	334 27.5	201 -	6.14

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.6 2.「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年2月期2Q	32,713,211株	23年2月期	32,713,211株
24年2月期2Q	211株	23年2月期	211株
24年2月期2Q	32,713,000株	23年2月期2Q	32,713,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものでありますが、業績等につきましては様々な要因により、今後大きく異なる可能性があります。

2. 当社は、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する定性的情報	4
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	6
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 四半期財務諸表	7
(1) 四半期貸借対照表	7
(2) 四半期損益計算書	9
【第2四半期累計期間】	9
【第2四半期会計期間】	10
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により、生産面を中心に急激に悪化したものの、生産設備の復旧や寸断されたサプライチェーンの修復に加え、個人消費も震災による消費者マインドの悪化が一巡する等、足元では持ち直しつつあります。

当社が属するエンターテインメント業界及び小売業界におきましては、根強い顧客層を背景として、景気低迷の影響を大きく受けることなく、比較的底堅い市場を維持しておりますものの、コンテンツ関連は、音楽のデジタル・ダウンロード、携帯電話向けポータルサイト兼ソーシャルネットワークワーキング・サービスの急成長、電子書籍など、デジタル配信への移行を早めており、企業間競争は、引き続き激化しております。

当社は、かかる経営環境下において、収益力の更なる向上を実現するために、自社内にて開発するコンテンツのヒット創出及びハイリターンの追求、リアルグッズ製作での確実な収益確保、長期滞留在庫の圧縮及び徹底したコスト削減に注力してまいりました。

このような状況下、当第2四半期累計期間の売上高は3,449百万円（前年同期比66.0%）となりました。

この主な要因としましては、平成23年3月30日に適時開示いたしました「リテール部門の事業譲渡に関するお知らせ」にて、概要を記載しておりましたとおり、平成23年6月1日をもって、株式会社アニメイトに当社リテール事業を譲渡いたしましたことにより、エンターテインメント事業の売上高のみになったものの、ゲーム部門では、7月から放送されたTVアニメ『うたの☆プリンスさまっ♪マジLOVE1000%』の好評を受け、8月に発売されたゲームソフト『うたの☆プリンスさまっ♪Repeat』の売上が計画を上回った他、旧作のバックオーダーも非常に好調であったこと、CD部門におきましても、TVアニメとタイアップしたCD7枚を発売し、好調な売上であったこと、カードゲーム部門では、『アクエリアンエイジ』が順調であったこと、グッズ部門では、ほぼ計画通りに推移したことなどが挙げられます。

売上総利益は、1,061百万円（前年同期比83.5%）、売上総利益率は30.8%（前年同期比6.5ポイントアップ）となりました。

この主な要因としましては、自社コンテンツ製品のヒットと、その波及により原価率が低下したことなどが挙げられます。

販売費及び一般管理費につきましては、平成23年6月1日をもって店舗運営に係る管理費の負担が無くなったことなどにより、774百万円（前年同期比68.4%）となりました。

この結果、営業利益は287百万円（前年同期比208.6%）、経常利益は279百万円（前年同期比206.2%）となりました。

四半期純利益は、リテール部門の事業譲渡に伴い、特別損失に事業分離における移転損失104百万円を、第2四半期会計期間において計上したこと等により、160百万円（前年同期比153.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は1,495百万円で、前事業年度末に比べ97百万円減少しております。現金及び預金の増加335百万円、売掛金の増加222百万円、商品及び製品の減少499百万円、未収入金の減少115百万円、前払費用の減少50百万円が主な要因であり、減少には譲渡した事業に係る資産471百万円が含まれております。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は40百万円で、前事業年度末に比べ173百万円減少しております。保証金の減少86百万円、関連会社株式の減少60百万円が主な要因であり、減少には譲渡した事業に係る資産163百万円が含まれております。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は1,004百万円で、前事業年度末に比べ316百万円増加しております。買掛金の増加66百万円、未払法人税等の減少22百万円、事業譲渡損失引当金（固定負債）の事業譲渡損失引当金（流動負債）への振替等による増加227百万円、その他各種引当金の増加50百万円が主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は5百万円で、前事業年度末に比べ748百万円減少しております。株主、役員又は従業員からの長期借入金の減少500百万円、事業譲渡損失引当金（固定負債）の事業譲渡損失引当金（流動負債）への振替による減少232百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は525百万円で、前事業年度末に比べ160百万円増加しております。これは、四半期純利益160百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものでありますが、業績等につきましては様々な要因により、今後大きく異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ29千円、税引前四半期純利益は448千円減少しております。

企業結合に関する会計基準等の適用

当第2四半期会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	819,656	484,571
売掛金	496,320	273,683
商品及び製品	83,709	583,015
仕掛品	36,062	35,071
原材料及び貯蔵品	3,793	7,288
その他	58,062	211,398
貸倒引当金	△2,164	△1,695
流動資産合計	1,495,441	1,593,334
固定資産		
有形固定資産	10,097	27,520
無形固定資産	4,670	6,544
投資その他の資産		
その他	27,938	181,997
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	25,938	179,997
固定資産合計	40,706	214,062
資産合計	1,536,147	1,807,396
負債の部		
流動負債		
買掛金	298,108	231,250
未払法人税等	8,332	31,244
返品調整引当金	26,127	24,830
ポイント引当金	—	21,200
賞与引当金	61,319	12,131
事業譲渡損失引当金	415,000	187,500
その他	196,097	180,417
流動負債合計	1,004,985	688,574
固定負債		
株主、役員又は従業員からの長期借入金	—	500,000
事業譲渡損失引当金	—	232,500
その他	5,326	20,905
固定負債合計	5,326	753,405
負債合計	1,010,311	1,441,979

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	330,000	2,877,163
資本剰余金	35,352	1,330,204
利益剰余金	160,029	△3,842,014
自己株式	△20	△20
株主資本合計	525,361	365,331
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	475	85
評価・換算差額等合計	475	85
純資産合計	525,836	365,417
負債純資産合計	1,536,147	1,807,396

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	5,227,770	3,449,478
売上原価	3,956,701	2,387,590
売上総利益	1,271,068	1,061,887
販売費及び一般管理費	1,133,454	774,852
営業利益	137,613	287,035
営業外収益		
受取利息及び配当金	62	75
受取手数料	7,757	118
その他	84	118
営業外収益合計	7,904	312
営業外費用		
支払利息	10,089	8,273
その他	123	21
営業外費用合計	10,213	8,295
経常利益	135,305	279,052
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,120	—
その他	115	—
特別利益合計	1,235	—
特別損失		
災害義援金	—	7,774
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	419
事業分離における移転損失	—	104,994
固定資産除却損	110	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	21,100	—
特別損失合計	21,210	113,188
税引前四半期純利益	115,329	165,864
法人税、住民税及び事業税	11,054	5,835
四半期純利益	104,275	160,029

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	2,866,541	1,108,094
売上原価	2,146,032	651,564
売上総利益	720,509	456,530
販売費及び一般管理費	576,904	231,780
営業利益	143,605	224,749
営業外収益		
受取利息及び配当金	62	75
受取手数料	3,858	104
その他	68	95
営業外収益合計	3,989	275
営業外費用		
支払利息	5,048	3,232
その他	63	3
営業外費用合計	5,112	3,236
経常利益	142,482	221,788
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
災害義援金	—	1,615
事業分離における移転損失	—	104,994
固定資産除却損	74	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	21,100	—
特別損失合計	21,174	106,610
税引前四半期純利益	121,307	115,178
法人税、住民税及び事業税	5,545	963
四半期純利益	115,761	114,214

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	115,329	165,864
減価償却費	8,545	5,676
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,120	469
返品調整引当金の増減額(△は減少)	348	1,296
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,500	△21,200
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	21,100	—
事業譲渡損失引当金の増減額(△は減少)	—	20,100
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	49,187
その他の引当金の増減額(△は減少)	△6,590	—
受取利息及び受取配当金	△62	△75
支払利息	10,089	8,273
固定資産除売却損益(△は益)	110	—
事業分離における移転損失	—	104,994
売上債権の増減額(△は増加)	△25,716	△222,637
たな卸資産の増減額(△は増加)	72,812	31,024
未収入金の増減額(△は増加)	24,553	115,878
仕入債務の増減額(△は減少)	157,306	66,858
その他	△15,058	72,289
小計	360,148	398,000
利息及び配当金の受取額	62	75
利息の支払額	△7	△13,041
法人税等の支払額	△21,397	△22,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	338,805	363,009
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,547	—
無形固定資産の取得による支出	—	△633
敷金及び保証金の回収による収入	38,302	11,830
事業譲渡による収入	—	476,243
その他	△666	△15,360
投資活動によるキャッシュ・フロー	34,088	472,080
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△500,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△500,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	372,889	335,085
現金及び現金同等物の期首残高	101,770	484,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	474,659	819,656

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、店舗・通信販売を内容とするリテール事業と、コンテンツ、ソフトの製造・販売及び他社商品の卸売を内容とするエンターテインメント事業を展開しております。

従って、当社は、事業部を基礎としたセグメントから構成されており、「リテール事業」、「エンターテインメント事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、平成23年6月1日付でリテール事業を譲渡したため、当第2四半期会計期間よりエンターテインメント事業のみの単一セグメントとなっております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	リテール事業	エンターテインメント事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,721,155	1,728,322	3,449,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,721,155	1,728,322	3,449,478
セグメント利益	2,311	284,723	287,035

(注)セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期会計期間において、リテール事業を譲渡したため、エンターテインメント事業のみの単一セグメントとなっております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月27日開催の定時株主総会において資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を決議し、平成23年5月31日付で、資本金2,547,163千円及び資本準備金1,330,204千円をその他資本剰余金へ振り替えたうえで、その他資本剰余金3,842,014千円を繰越利益剰余金へ振り替えています。